

# 令和5年度 年間授業計画

都立田無工科高等学校

教科・科目	国語 国語表現		単位数	2
対象学年・組	3学年全クラス	教科担任	MA:村社 MB:村社 AA:村社 AB:村社 CA:村社	
教科書 ・ 副教材	国語表現(改訂版) 基礎練習ノート国語表現(改訂版)			
1. 目標				
(1)国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨く。 (2)進んで表現する姿勢を身に着け、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。				
2. 学習内容と学習上の留意点				
学期	月	単元	指導内容・指導目標	予定時数
1 学 期	4			
	5	○ガイダンス ○整った文を書く	○自らの目標を設定することができる。 目標を達成する具体的な活動を設定することができる。	6
	6	○整った文を書く	○「仮名遣い」「送り仮名」「同音異義語」「同訓異字」「漢字の使い分け」「四字熟語」の原則を理解し、ワークブックに正しく表記することができる。	8
	7	○わかりやすい文を書く ○自己PRと面接	○あいまいな表現を避ける推敲をすることができる。 ○自己PRの原稿を書き、発表することができる。	4
	1学期授業時数計			18
2 学 期	9	○文のつながり方 ○面接の準備	学んだ手法を用いて正しく文をつなぐことができる。 笑顔で模擬面接に臨むことができる。	8
	10	○絵や写真を見て書く	○学んだ手法を用いて絵や写真を見て配置を説明したり、形を説明したり、文章を書くことができる。	8
	11	○メディアと情報	○メディアごとに立場や条件が異なり、情報の伝え方が異なることを理解できる。	6
	12	○言葉のストレッチ体操	○様々な表現手段を理解し、実際に行うことができる。	6
	2学期授業時数計			28
3 学 期	1	○リーダーズシアター	○文章の内容に応じてふさわしい声の使い方を工夫し、効果的に朗読を発表することができる。	3
	2	○ショートスピーチ	○話すことの順番を考えて、わかりやすいショートスピーチをすることができる。話し手が話しやすい聞き方をすることができる。	4
	3	○プレゼンテーションの工夫	○聞き手の興味を引くような工夫をして、わかりやすく発表をすることができる。	2
	3学期授業時数計			9
年間授業時数合計				55
3. 評価の観点・方法				
(1)関心・意欲・態度: 発言や発表、自己評価と相互評価				
(2)話す・聞く能力: 発言や音読・朗読、自己評価と相互評価				
(3)書く能力: 課題、自己評価と相互評価				
(4)知識・理解: チャレンジテスト、発言や発表、自己評価と相互評価				